

1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践

2 教職員研修

(1) 大洲市教育研究所総会

- ① 日 時 平成 30 年 4 月 18 日 (水)
- ② 場 所 大洲市民会館、大洲市立大洲小学校
- ③ 内 容
 - ア 役員選出
 - イ 研究主題
 - ウ 活動内容について
 - エ 情報交換

(2) 大洲市学校情報教育推進協議会

平成 28 年度より、「大洲市学校情報教育推進協議会」を設置し、委員が数回集まり、校務支援システム更新に伴う学校現場からの要望をまとめたり、今年度新しく導入された学校用グループウェア「ミライム」の操作説明会を行ったりしてきた。11 月から新しい校務支援用のコンピュータが導入され、新システムの操作説明会を各小・中学校で行うだけでなく、担当者別にも下記のような研修を行った。

- ① 教頭、教務主任対象研修
 - ア 「ミライム」活用（スケジュール機能の活用、掲示板機能、アンケート機能）
- ② 進路指導主事研修
 - ア 「らくらく校務支援システム」の活用
 - イ 調査書・学習成績一覧表作成機能の周知 私立学校調査書書式作成依頼
- ③ 情報教育主任対象研修
 - ア 「ミライム」活用（学校日誌作成機能の周知、アンケート機能の紹介）
 - イ 「らくらく校務支援システム」の活用（出席簿、指導要録、通知表）
 - ウ 市内共有フォルダ活用
 - エ 情報セキュリティ
- ④ 養護教諭対象研修
 - ア 「らくらく校務支援システム」の活用（保健日誌作成機能、保健通知）

3 成果と課題

今年度から新しいコンピュータを導入するにあたり、今までの校務支援ソフトの見直しや改善について、大洲市学校情報教育推進協議会が中心となって話し合いを行ってきた。しかし、学校用グループウェアや校務支援システムの機能を十分に活用できていない現状があり、従来の情報教育主任のみの研修では不十分である実態が分かった。そのため、今年度は担当者別の研修を実施することで、今まで活用されていなかった機能を学校で活用できるように研修を行った。その結果、新システムの活用が、今まで以上にスムーズに進み、校務を滞りなく遂行できる職員が増えてきた。しかし、まだまだすべての職員が十分に活用できているとは言えない。大洲市学校情報教育推進協議会の部会別研究内容の周知徹底を図るとともに、今後も研修の場を提供し、校務支援システムの十分な活用方法を考え、校務の情報化を推進していきたい。